

令和3年1月19日

産業連携・地域支援課地域支援室

産業連携・地域支援部会(第24回)等を踏まえた「地域科学技術イノベーション・エコシステムの構築に向けた方策について(中間まとめ)」の修正のポイントについて

- (1) 産業連携・地域支援部会(第24回)におけるコメントを踏まえた対応(参考参照)
- (2) 時点の修正
- (3) 文言の補足説明
- (4) 文言の統一化

(参考) 産業連携・地域支援部会におけるコメントを踏まえた対応

氏名	コメント内容	該当ページ
松尾委員	○ これから地方創生をやろうと思うと、レベルとしては世界と戦えるようなレベルで地域貢献をしていかないと地域の発展はないだろう。 ○ 一方で、地方創成と国際競争力強化の双方を同時に成し遂げるのは、東京大学や京都大学しか難しいほか、地方自治体は自分の自治体のことしか考えないので、<u>地方大学が地方自治体とバイで取組むのでなく、大学間連携や地域連携プラットフォーム等の組織的なネットワークを活用して総合的に機能に強化していく方針を早期に取っていかないといけない。</u>	10, 11 ページ
江戸川委員	○ 例えば、4-2-3の支援人材の箇所に、支援者の例としてVCが記載されているが、投資ニーズが無い中で地域にベンチャーファンドを組成するとなった場合、経験が浅い方がファンドを組成して投資を進めて言ってもうまくいかないのが、<u>地域にあまりこだわらずに、全国区で活躍している専門家を活用していただきたい。</u> ○ VCに限らず、その他の支援者も同様で、<u>良いチームを作るところに重点を置いてほしい。</u>	15, 16 ページ
須藤部会長	○ <u>地域イノベーション・エコシステム形成プログラムやDESIGN-iなど、産業連携・地域支援課で現在動かしている施策の中のどの部分を反映して、どの部分が新しくなったのかをもう少し分かりやすく記載いただくと、次の施策もより有意義になるのではないか。</u>	6, 7 ページ